

新宿駅西口駅前広場デザイン方針 (概要版)



生まれ変わります！

新宿駅西口駅前広場は
もっと人のための広場へ

令和8(2026)年9月



東京都

新宿駅西口駅前広場は もっと人のための広場へ

かつての新宿駅西口駅前広場は、モータリゼーションという時代の要請を受け、車やバスのためのロータリーと人のための広場の両立を目指して計画されました。新しい駅前広場は、地上にも地下にも人のための空間を広げ、みどりと光の中で人が集い、滞在できる駅前広場へ生まれ変わります！



駅前広場の利活用イメージ(イベント開催時)

キーワード

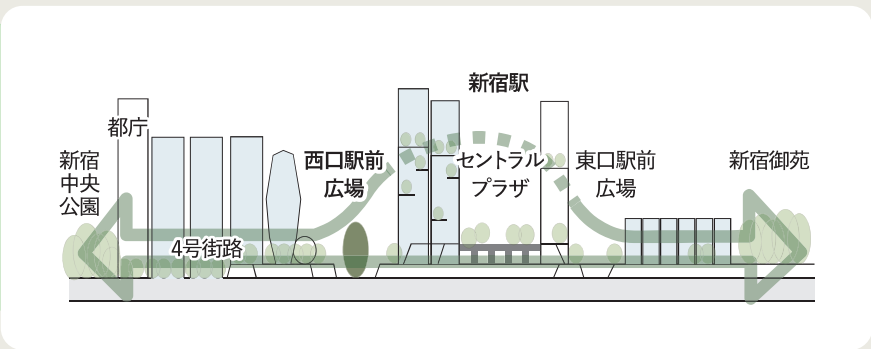
※パースは完成予想のイメージ(2040年代)であり、関係機関との協議により変更となる場合があります。

01

緑

のかなめとなる駅前広場

西新宿の新宿中央公園や4号街路から東口側の新宿御苑までをつなぐみどりの軸の「かなめ」となり、緑豊かで季節の彩りを感じられる広場を目指します。



02

光

が差し込む明るい駅前広場

「ボイド」を生かしたデザインにより地下1階まで光を取り込み、地上階とのつながりと広がり演出します。人の流れを導き、迷わず移動できる分かりやすい空間を目指します。

※ボイド:地下からの吹き抜けとなる開口部

03

人

が集い、賑わう、快適な駅前広場

新たなシンボルとなる大きなシンボルツリーが人々の賑わいを優しく見守ります。心地よい緑陰を生み出し、いつでも快適に過ごせる場所を目指します。

デザインのポイント

1 歩きやすく乗り換えしやすい駅前広場

バスやタクシーの乗降場を再編し、地上部の中央に歩行者中心の広場を設け、地下の歩行者空間も広げます。鉄道からバスやタクシーへの乗り換えもわかりやすくします。



2 駅前広場を象徴するシンボルツリー

「世界一の乗降客数を誇る新宿駅」と「西口の高層ビル群」の大きなスケール感にふさわしく、温かさや愛着を感じさせる象徴として、広場に大きなシンボルツリーを配置します。



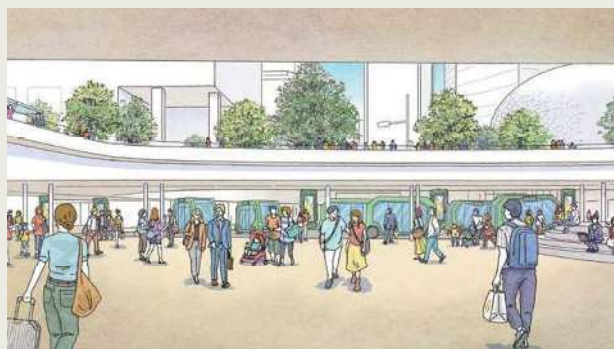
3 シンボルツリーに近づく立体的な回遊動線

シンボルツリーの近くに、地上と地下をつなぐ上下動線と、居心地のよい滞留空間を整備することで、シンボルツリーがより親しみやすい存在となることを目指します。



4 ボイドを生かした見通しの良い地下広場

見通しの良い地下広場を整備し、「ボイド」越しに地下からも周辺のビルを見つけやすくします。わかりやすい上下動線も整備し駅周辺の移動をスムーズにします。



5 みどり溢れる快適な屋外空間

シンボルツリーをはじめとしたみどりの配置により緑陰を生み出します。最新技術の導入も念頭に置きながら、夏でも冬でも快適な屋外空間を創出します。



6 広く立体的なイベントスペース

広い広場空間は、イベントスペースとしても活用できます。「ボイド」と階層構造を活かし、地上と地下を一体的に使用したイベントの開催など、多様な利活用が可能な空間になります。



※パースは完成予想のイメージ(2040年代)であり、関係機関との協議により変更となる場合があります。

詳しく知りたい方へ > 右の二次元コードから、都市整備局HP「新宿駅西口駅前広場デザイン方針」へ

